

# 井上マーの 教えてイイトコ 宇都宮



本市出身の芸人、井上マーが  
宇都宮のイイトコを訪れ、触れてきました。

## ずっと Zuttoきよはら

今回お邪魔したのは、清原地区を盛り上げようと区内の農家の皆さんを中心に結成したグループ「Zuttoきよはら」。宇都宮って、都市のイメージが強いですが、実はとても農業が盛んな「農業王国」でもあるんですよ。

農作業を体験したり、おいしい野菜をいただいたりしました。驚いたのは、清原産の野菜で作られたオリジナルのピクルス。梨、トマト、シイタケなど珍しいものもあるんですよ。とてもおいしかったな。

農作業体験の後、訪れたのはZuttoきよはらの1人、笠原シェフが営む「サカヤカフェマルヨシ」。清原産の野菜を中心とした地元の農産物を味わえるんです。まさに地産地消。「農業王国」宇都宮、盛り上がっています。皆さんも地元産の野菜のおいしさ、かみしめてみてくださいね。



▲Zuttoきよはらの皆さん。



◀大根の収穫体験をするマーさん。何と収穫したその場で食べられるほどの新鮮さ。

▶大好評の「Zuttoきよはら」オリジナルのピクルス。現在、夏頃の本格販売を目指してイベントなどで試験販売をしています。



### Zuttoきよはら

清原地区の生産者や飲食店、施設など清原を愛するメンバーが集まり、清原地区を盛り上げるために活動している地域団体。誰でも参加できるツアーなどのイベントも開催しています。

※Zuttoきよはらについて、6月12日(日)午前10時30分～10時40分とちぎテレビ「井上マーの教えてイイトコ宇都宮」(再放送)で放送します(48ページ参照)。併せてご視聴ください。

## 乗ってみよう 地域内交通

今回は、地域組織が運営主体となり運行している地域内交通のうち、平石地区のデマンド型乗り合いタクシー「ひらり号」について紹介します。



■「ひらり号」の導入に至るまで 平石地区は一部でバス路線が運行しているものの、公共交通空白地域が広く存在し、車の運転が困難な高齢者などの移動手段の確保が課題でした。このため、平成25年から地域で検討を始め、平成28年3月、デマンド型乗り合いタクシーの試験運行を開始しました。この乗り合いタクシーは、地域住民になじみ、親しみを感じてもらえるよう「平石の里を走る公共交通」という意味を込めて「ひらり号」と命名されました。

■地域の生活に合わせた運行 ひらり号は、平石地区全域に加え、岡本駅周辺や石井地区、清原地区の一部などへも運行する他、JR岡本駅や主要バス路線に接続するこ

とで、中心市街地や市外など広域的な移動にも対応しています。

また、高齢者や車椅子利用者など誰でも快適に利用できるよう、ユニバーサルデザイン車両を導入するとともに、今後は地域行事に合わせた運行を行うなど、利便性の高い公共交通を目指しています。運行開始から3カ月が経ち、利用者からは安心・便利な交通手段として、親しまれつつあります。

平石地区地域内交通運営協議会会長 高橋 勉さん

### ■ひらり号

▽運営主体 平石地区地域内交通運営協議会。

▽運行日 月～土曜日(祝休日、年末年始除く)

▽運行エリア 平石地区全域、▲ひらり号の車両



岡本駅周辺、石井地区、清原地区の一部など。

▽運行便数 1日11便(午前8時発～午後6時発)。

▽利用料金 1回300円(小学生半額、未就学児無料)。

▽利用対象者 平石地区に住んでいる人。

▽その他 利用方法など詳しくは、市ホームページをご覧になるか、平石地区市民センター☎(660)1964へ。



本格運行に向けて、加入世帯数と併せて利用者数の増加が最重要課題となるため、自治会長や班長が一軒一軒世帯を訪問してチラシを配布するなど、地道な周知活動を行っています。地域や利用者のニーズに応えられる運営を心掛け、「地域内交通があって良かった」、「利用して良かった」と評価していただけるよう努めていきます。

今までは病院や買い物に行くのにも交通手段が無く、なかなか出掛けることができず、困っていましたが、「ひらり号」の運行が始まり、大助かりです。自分の都合に合わせて出掛けられるので、とても便利でうれしいです。



☎交通政策課☎(632)2133

利用者の福田さん

### ◎シニア世代応援講座 相続・贈与の基礎知識

▽日時 6月22日(水)午前10時30分～11時30分▽会場 中央図書館(明保野町)▽内容 宇都宮税務署員による相続税などの基礎知識についての講座▽定員 先着40人▽申込 6月7日午前9時30分から、直接または電話で、中央図書館☎(636)0231へ。